

11月公演

平成24年 11月3日[土・祝]~25日[日]  
※14日[火]は休演

人形淨瑠璃

# 狂通し 仮名手本忠臣蔵

## 第一部

午前10時30分開演

- 大序 鶴が岡兜改めの段
- 恋歌の段
- 二段目 桃井館本蔵松切の段
- 三段目 下馬先進物の段
- 腰元おかる文使いの段
- 殿中刃傷の段
- 裏門の段
- 四段目 花籠の段
- 塙谷判官切腹の段
- 城明渡しの段
- 五段目 山崎街道出合いの段
- 二つ玉の段
- 六段目 身売りの段
- 早野勘平腹切の段

## 第二部

午後4時30分開演

- 七段目 祇園一力茶屋の段
- 八段目 道行旅路の嫁入
- 九段目 雪転しの段
- 山科閑居の段
- 大詰 花水橋引揚の段

予約開始

10月3日(水)10時~

電話予約 国立劇場チケットセンター [10時~17時]

0570(07)9900

03(3230)3000 [PHS・IP電話]

インターネット予約 [一般・パソコンのみ]

<http://ticket.ntj.jac.go.jp/>

窓口販売開始

10月4日(木) [チケット売場 10時~18時]

※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません

ご観劇料

[1等] 一般 5,800円・学生 4,100円

[2等] 一般・学生とも 2,300円

[通し料金] (1等一般のみ) 9,800円

※障害者2割引(1等一般のみ)

車椅子用スペースがございます。ご予約時にお問い合わせ下さい

■便利な幕見席もございます(詳細はお問い合わせ下さい)

団体予約受付中

団体観劇(10名様以上)のお申込みは

営業課営業会員係まで

06(6212)5782

字幕表示が  
ございます



国立文樂劇場

〒542-0073 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号

06(6212)2531(代) <http://www.ntj.jac.go.jp/>

地下鉄・近鉄(日本橋)駅下車7号出口より東へ徒歩約1分

※駐車場がございませんのでお車でのご来場はご遠慮下さい

再生紙を使用しております

写真:青木信二「祇園一力茶屋の段」

# 狂言通し 仮名手本忠臣蔵

平成24年  
11月3日[土・祝]  
～25日[日]  
\*14日(火)は休演

第二部 午後4時30分開演 (9時終演予定)

由良助は夜毎遊興にふけ

【三段目】下馬先進物の段・腰元おかる文使いの段・殿中刃傷の段・裏門の段

元禄赤穂事件（一七〇一～一七〇三）は、様々な文芸に取り上げられましたが、事件の四十七年目の寛延元年（一七四八）に大坂竹本座で人形浄瑠璃として初演されたのが、『仮名手本忠臣蔵』です。三人の合作者は、当局に配慮して『太平記』の設定を借り、本望を遂げる困難を訴え、関係する人々の苦悩を描いています。歌舞伎をはじめ、現代の文芸・芸能・映像作品にまで影響を与えていた日本の戯曲史上重要な作品です。今回の公演は、一日がかりで一つの作品を上演する、通し狂言で、平成十六年以来となる本格的なものです。竹本座の伝統を受け継ぐ文楽が、総力を挙げて取り組みます。

【四段目】花籠の段・塩谷判官切腹の段・城明渡しの段  
切腹を命じられた判官は、駆け付けた國家老大臣由良助に、無念の思いを伝えます。由良助は形見の腹切刀を懐に、館を去ります。



【五段目】山崎街道出合いの段・二つ玉の段

おかるの実家で獅師をしている勘平は、同僚の千崎弥五郎と再会し、御用金の調達を約束します。おかるの父与市兵衛は、塩谷の旧臣斧定九郎に殺され、娘を売った金を奪われます。しかし定九郎も、勘平が撃つた鉄砲で死に、勘平は金を手に入れます。

【六段目】身売りの段・早野勘平腹切の段  
祇園の一文字屋がおかるを迎えてきたところへ帰宅した勘平は、舅を殺したと思い込み、おかるを引き渡します。与市兵衛の遺体が運ばれ、義母には親殺しと罵られ、原郷右衛門と弥五郎にも責められた勘平は、文を渡し口説きますが、若狭助に阻まれ、若狭助を侮辱するのでした。

【一段目】桃井館本藏松切の段  
若狭助は、家老の加古川本藏に師直を討つ決心を伝えます。本藏は同意しましたが、いざこかへ急ぎます。

【二段目】桃井館本藏松切の段  
若狭助は、家老の加古川本藏に師直を討つ決心を伝えます。本藏は同意しましたが、いざこかへ急ぎます。



【大序】鶴が岡兜改めの段・恋歌の段

將軍足利尊氏の弟の義は、新田義貞の兜奉納を、高師直、桃井若狭助と塩谷判官に命じ、鑑定のため、判官の妻顔世御前を呼び出します。師直は顔世に恋文を渡し口説きますが、若狭助に阻まれ、若狭助を侮辱するのでした。

【九段目】雪転しの段・山科閑居の段  
山科に移り遊興を続ける由良助は、日陰に置けば雪も溶けないと、由良助は力弥を諭します。小浪を伴つた戸無瀬は、祝言を申し入れますが、由良助の妻お石に断られます。绝望した親子が思い余つて死のうとした時、お石は引き出物として主君判官の恨みが残る本藏の首を望みます。そこへ虚無僧姿の本藏が現れ、わざと力弥の手にかかります。自らの命を懸けて娘の祝言を頼み込む本藏に、由良助はついに本心を明かすのでした。



【大詰】花水橋引揚の段

師直を討つた一同のもとへ、若狭助が現れます。若狭助に見送られ、一同は菩提所へ向かうのでした。



予約開始

10月3日(水)10時～

電話予約 国立劇場チケットセンター [10時～17時]

0570(07)9900

03(3230)3000 [PHS・IP電話]

インターネット予約 [一般・パソコンのみ]

<http://ticket.ntj.jac.go.jp/>

窓口販売開始

10月4日(木) [チケット販売場10時～18時] [※チケット販売用に別枠での取り置きはございません]

ご観劇料

[1等] 一般 5,800円・学生 4,100円

[2等] 一般・学生とも 2,300円

[通し料金] (1等一般のみ) 9,800円

\*障害者割引(1等一般のみ)  
車椅子用スペースがございます。ご予約時に問い合わせ下さい。

■便利な幕見席もございます(詳細はお問い合わせ下さい)

一般のみの取扱い 10月3日(木)より

チケットぴあ ..... #0570(02)9999 [Pコード418-936]

ローソンチケット ..... #0570(000)407 [Lコード53510]

e+(イープラス) ..... <http://eplus.jp> (パソコン・携帯)

JR西日本(京阪神地区)の主な駅のみでの窓口

国立文楽劇場

<http://www.ntj.jac.go.jp/>

地下鉄・近鉄(日本橋)駅下車7号出口より東へ徒歩約1分

国立文楽劇場

〒102-0073 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号 06(6212)2531(代)

\*駐車場をご利用の方の車でのご来場はご遠慮下さい。